

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1] 経済活力の向上の必要性

(1) 現状分析

中心市街地の空き店舗対策としては、新規出店する事業者に対して、改装費と家賃の一部を支援するリフレッシュサポート事業を実施し、令和2年度から令和6年度までに18店舗が出店しており、空き店舗数が減少傾向になっている。

また、老朽化した商店街の店舗の改装費の一部を支援する個店魅力アップ事業については、令和2年度から令和6年度までに11件、遊休物件のリノベーションに係る費用の一部を支援するリノベーション推進事業については3件の利用があり、中心市街地の魅力向上に繋がっている。

また、イベントの開催については、平成22年度から中心市街地で開催していた「元氣ハツラツ市」においては、令和4年度に「まちなかスクエアガーデン」に名称変更し、大垣駅通りや大垣公園、丸の内公園などの複数エリアにおいて、同日にイベントを開催して、令和6年度は6万1千人の来場者を集めた。11月には、大垣駅通りを交通規制して手作り雑貨や衣料品・食品等の販売、西美濃地域の企業による物販や展示等を行うオオガキストリートフェスティバルを開催し、4万人の来場者があった。

そのほか、大垣まつりや水都まつり、十万石まつりの三大祭りをはじめ、水の都おおがきたらい舟・舟下り、おおがきマラソン、芭蕉祭、城下町大垣きもの園遊会等を開催することにより中心市街地の活性化に寄与しているが、商店で買い物する人が増えていないのが現状である。今後は、商店の売上げ増加につながるよう積極的な情報発信と魅力ある店舗づくりとともに、需要調査等の分析を踏まえた商店街の在り方や将来ビジョンの検討を行う必要がある。

こうした中、平成24年4月に観光交流の拠点施設となる「奥の細道むすびの地記念館」がオープンし、平成26年3月には「おくのほそ道の風景地 大垣船町川湊」が国名勝に指定されたことで今後も観光客の増加が期待できる。

また、令和6年度に初めて実施された、大垣市商店街振興組合連合会の会員店舗を対象としたデジタル版プレミアム付商品券は、販売から4日間で完売し、中心市街地のDX化に寄与するとともに、活性化にも繋がっている。

中心市街地活性化の目標である「にぎわいの創出」を進めるためには、中心市街地内の商業及び観光施設の魅力向上と来街者の増加を図る必要がある。

このため、まちなかスクエアガーデンをはじめとする、大垣駅通り一帯でのイベントの開催をはじめ、奥の細道むすびの地記念館をメイン会場に展開される観光客の誘客イベントの充実、民間主導によるイベントの開催、DXを活用した事業の取り組み

を進めるなど、中心市街地内において数多くの事業を実施することで、来街者増加を図る必要がある。

さらに、トイレトレーラーを導入し、中心市街地でのイベント会場等に合わせて移動設置することにより、来訪者の利便性を図るとともに、災害時での機動的活用や防災意識の向上に資する。

(2) 経済活力の向上の必要性

これらの現状を踏まえ、中心市街地活性化の目標である「にぎわい創出」の一つであるまちなか商業の活性化を図るため、次の事業を基本計画に位置付ける。

商業施設の整備 : 中心市街地リフレッシュサポート事業

中心市街地個店魅力アップ事業

大垣駅南前地区市街地再開発事業

商店街の魅力再生 : 商店街魅力向上事業

ハツラツ店舗支援事業

中心市街地リノベーション推進事業

大垣地域経済戦略推進事業

西美濃観光地域づくり推進事業

中心市街地協働型まちづくり事業

えきまえスクエアパーティ

デジタル版プレミアム付商品券発行事業

デジタル地域通貨「ガキペイ」活用推進事業

イベントの開催・支援 : まちなかスクエアガーデン事業

城下町大垣イルミネーション事業

水の都おおがきたらい舟、水の都おおがき舟下り

水の都おおがきたらい舟川遊び

おおがきマラソン事業

芭蕉蛤塚忌全国俳句大会事業

中心市街地にぎわいづくり事業

城下町大垣きもの園遊会事業

芭蕉祭事業

ラジオ情報発信事業

かがやきライフタウン大垣推進事業

市民デジタル活用研修

のりものフェア

三大まつりを活用した都市プロモーション
オオガキストリートフェスティバル事業
まちなかテラス推進事業
水都を感じられる活動の支援事業
街のアーティストフェスタ事業
子どもの職業・社会学習体験機会創出事業
かがやき健康ウォーキング事業

観光施設の魅力向上：観光客誘客促進事業

ふるさと大垣観光ボランティアガイド事業
西美濃観光案内所事業
蕉風丸管理事業
奥の細道むすびの地記念館展示事業
4館共通入館券発行事業
美濃路大垣宿本陣跡管理事業
観光情報発信事業

(3) フォローアップの考え方

毎年度、基本計画に位置付けた事業の進捗状況の調査を行い、着実な推進を図る。
また、中心市街地活性化状況や目標指標への効果を把握し、必要に応じて事業の推進等の改善措置を講ずる。

[2] 具体的事業の内容等

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業等

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

【事業番号】 7-1 【事業名】 中心市街地リフレッシュサポート事業

【事業実施時期】	平成8年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	小売店舗等の活性化と商業の振興を図るため、商店街魅力向上事業による空き店舗における貸し手と借り手のマッチング支援や商店主による「まちゼミ」を開催するとともに（事業番号7-2）、市が小売店舗等の新規出店事業者に対して、要件とする中小企業診断士等による経営相談等で必要とされた中心市街地・商店街における小売店舗等の新規出店に要するテナント改装工事費、賃借料の一部を補助する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	空き店舗の解消		
【目標指標】	商店街振興組合連合会内空き店舗数		
【活性化に資する理由】	中心市街地内で出店する個人または法人に対し、市が補助金を交付することにより、中心市街地における出店を促進し、もって中心市街地内の商工業の振興と地域経済の活性化を図ることで、空き店舗を解消する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-2 【事業名】 商店街魅力向上事業

【事業実施時期】	令和3年度～		
【実施主体】	大垣市商店街振興組合連合会		
【事業内容】	商店街の空き店舗撲滅のためのマッチングや、商店街の情報発信等を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	空き店舗の解消		
【目標指標】	商店街振興組合連合会内空き店舗数		
【活性化に資する理由】	中心市街地内の空き店舗における貸し手と借り手とのマッチング支援や、商店主による「まちゼミ」を開催し、空き店舗の解消と魅力向上を図る。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-3 【事業名】 まちなかスクエアガーデン事業

【事業実施時期】	平成22年度～		
【実施主体】	大垣市商店街振興組合連合会		
【事業内容】	大垣駅通り等で年に数回イベントを開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	市民団体やNPO法人と連携して、大垣駅通りや大垣公園、丸の内公園などの複数エリアにおいて、同日にイベントを開催することにより、ウォークアブルなまちとして中心市街地の活性化や、交流人口の拡大に繋げ、中心市街地への集客およびにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-4 【事業名】 城下町大垣イルミネーション事業

【事業実施時期】	平成 15 年度～		
【実施主体】	城下町大垣イルミネーション実行委員会		
【事業内容】	中心市街地にイルミネーションを実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に 資する理由】	毎年、中心市街地をイルミネーションで装飾するイベントで、中心市街地のにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-5 【事業名】 水の都おおがきたらい舟

【事業実施時期】	平成 15 年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	4月下旬から5月上旬の集客が見込めるゴールデンウィークの時期に、たらいを模した舟による川下りを実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に 資する理由】	大垣城の外堀である水門川にたらい舟を浮かべ川下りを行うイベントで、観光客の誘客促進を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-6 【事業名】 水の都おおがき舟下り

【事業実施時期】	平成 23 年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	3月下旬から4月上旬の桜の開花時期に、満開の桜のトンネルをくぐりながらの舟による川下りを実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	大垣城の外堀である水門川を舟で下るイベントを行い、観光客の誘客促進を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-7 【事業名】 芭蕉蛤塚忌全国俳句大会

【事業実施時期】	昭和 60 年度～		
【実施主体】	大垣全国俳句大会実行委員会		
【事業内容】	表彰や記念講演会等を実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	毎年、芭蕉蛤塚忌にちなんだ俳句の全国大会を開催するもので、全国から俳句愛好者の集客を図り、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-8 【事業名】 おおがきマラソン事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～		
【実施主体】	おおがきマラソン実行委員会		
【事業内容】	中心市街地を発着地点としたハーフマラソン大会を開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	中心市街地を発着地点とした、市内の名所を巡るハーフマラソンを開催し、中心市街地商店街等との連携の下、市民の健康増進、交流人口の増加、商店街の活性化を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内外		

【事業番号】 7-9 【事業名】 かがやきライフタウン大垣推進事業

【事業実施時期】	平成 17 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	市民活動団体の成果発表などを行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	中心市街地内にある「大垣城ホール」をメイン会場に、市民活動団体や生涯学習団体が日頃の活動成果を披露するとともに、来場者が新たな活動の場を発見し、地域活動や社会参加へのきっかけとするイベント（かがやき活動紹介、体験工房、ステージ発表など）を開催し、中心市街地のにぎわい創出と回遊性向上を図る。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-10

【事業名】 三大まつりを活用した都市プロモーション

【事業実施時期】	令和8年度～		
【実施主体】	大垣市 大垣まつり実行委員会 水都まつり実行委員会 十万石まつり実行委員会		
【事業内容】	<p>「水都大垣」の魅力を多くの人に知ってもらうため、大垣まつり、水都まつり、十万石まつりの三大まつりを開催し、まちへの誇りや愛着を育み、シビックプライドを醸成し、定住意向の向上につなげる。同時に、都市プロモーションとして三大まつりを活用して、住民が「このまちで暮らし続けたい」と思える環境であることを、市のPR動画、紹介パンフレット、移住・定住ポータルサイト及び市外での魅力発信イベント等で地域内外へ広く発信し、大垣市への移住、Uターン者の増加につなげる。</p>		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に資する理由】	<p>5月に開催される大垣まつりは、平成27年3月2日に「大垣祭の軸行事」として国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年12月に全国32件の祭礼行事とともに「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録された祭礼行事である。次に、8月初旬に開催される水都まつりは、大垣駅通りや各商店街で行われる大垣の夏を彩るまつりで、盆踊りなど各種イベントや、商店街が華やかな七夕飾りで彩られる祭りである。次に、10月第2日曜日に開催される十万石まつりは、少年団パレードや、大人や子ども、企業などの参加者による神輿の練り歩きが行われ、多くの市民等が参加する祭りである。この三大まつりは中心市街地におけるにぎわいの創出に大きく寄与するとともに、三大まつりを通じて、大垣市の魅力を広く発信することで、移住・定住を促し、まちなか居住を推進する。</p>		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-11 【事業名】 西美濃観光案内所事業

【事業実施時期】	平成30年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	大垣駅内において西美濃地域の観光案内を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	大垣駅内において大垣をはじめとする西美濃の観光案内をすることで、来街者へのサービス向上と回遊性を高め、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-12 【事業名】 ラジオ情報発信事業

【事業実施時期】	平成22年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	駅前イベントにおいてラジオ公開放送を実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	オオガキストリートフェスティバルなどのイベント会場においてラジオ公開録音を実施することにより、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-13 【事業名】 城下町大垣きもの園遊会事業

【事業実施時期】	平成22年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	着物で中心市街地を散策するイベントを開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	中心市街地を着物で散策し、各店舗においておもてなしを受けられるスタンプラリーを開催することで、各個店への集客を図り、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-14 【事業名】 オオガキストリートフェスティバル事業

【事業実施時期】	令和5年度～		
【実施主体】	大垣市商店街振興組合連合会		
【事業内容】	大垣駅通りで交通規制を行い、イベントを開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	手作り雑貨や衣料品・食品等の販売、西美濃地域の企業による物販や展示等により、中心市街地のにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-15

【事業名】 まちなかテラス推進事業 [再掲]

【事業実施時期】	令和2年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	公共空間における、テラス席の設置や物品販売等を支援するとともに、大垣駅通りや公園、広場、河川空間等を利用したイベントを開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 空き店舗の解消		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 商店街振興組合連合会内空き店舗数		
【活性化に資する理由】	大垣駅通り等において、事業者のテラス席設置や物品販売等を支援するとともに、公園、広場、河川空間等を利用したイベントを開催することで、中心市街地のにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-16

【事業名】 デジタル版プレミアム付商品券発行事業

【事業実施時期】	令和6年度～		
【実施主体】	大垣市商店街振興組合連合会		
【事業内容】	商店街での買い物促進及びDX化を図るためデジタル版プレミアム付商品券を発行する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進 空き店舗の解消		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均） 商店街振興組合連合会内空き店舗数		
【活性化に資する理由】	商店街でお得に使用できるデジタル版商品券発行により消費拡大及びDX化及び子育て世代等の支援を促進し、商店街の活性化を図ることで、中心市街地のにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-17

【事業名】 水の都おおがきたらい舟川遊び

【事業実施時期】	令和5年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	観光イベントを実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	四季の広場でたらい舟乗船体験を行うイベントで、観光客の誘客促進を図ることで、中心市街地のにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-18

【事業名】 子どもの職業・社会学習体験機会創出事業

【事業実施時期】	令和6年度～		
【実施主体】	大垣市 市民活動団体		
【事業内容】	中心市街地域内で市内事業者等の職業体験ができるイベントを開催。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	子どもたちが、楽しみながら社会について学ぶことができる職業体験イベントの開催を契機に中心市街地へ多くの来場者が訪れることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-19

【事業名】 水都を感じられる活動の支援事業

【事業実施時期】	令和8年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	「水都大垣」を感じられるイベント等を開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	「水都大垣」を感じられるまちなかをつくるため、河川空間を活用したイベント等を官民協働で実施することで、中心市街地のにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-20 【事業名】 観光客誘客促進事業

【事業実施時期】	平成 19 年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	エージェントへの観光PR活動を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	観光ルートでのPR及び誘客奨励助成を行うものであり、市外からの観光客の誘客促進を図ることで、中心市街地にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内 ※誘客奨励金の原資に係る費用は対象外。		

【事業番号】 7-21 【事業名】 西美濃観光地域づくり推進事業

【事業実施時期】	平成 29 年度～		
【実施主体】	西美濃観光ネットワーク		
【事業内容】	商店においておもてなしが受けられる「ぷらっと西美濃」の発行等実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	商店街等でおもてなしが受けられる「ぷらっと西美濃通行手形」の発行等により来街者の回遊性を高め、経済の活性化につなげるとともに、市外からの観光客の誘客促進を図ることにより、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-22 【事業名】 観光情報発信事業

【事業実施時期】	平成 24 年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	観光情報誌、まち歩きマップの製作やホームページ等で観光情報を発信する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	観光情報誌や、中心市街地周辺の駅前まち歩きマップの製作・配布やホームページ等で観光情報を発信することにより、来街者の増加を図り、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-23 【事業名】 芭蕉祭事業

【事業実施時期】	平成 24 年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	奥の細道むすびの地記念館周辺において、春にイベントを開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	毎年、春に奥の細道むすびの地記念館イベント広場を主会場に水門川一帯で市民俳句まつりなど様々なイベントを開催し、集客を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業番号】 7-24 【事業名】 奥の細道むすびの地記念館展示事業

【事業実施時期】	平成 24 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	春、夏、秋の時期に期間限定で企画展を開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	奥の細道むすびの地記念館において企画展を開催し、中心市街地のにぎわい創出と回遊性向上を図ることにより、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

【事業番号】 7-25

【事業名】 大垣駅南前地区市街地再開発事業[再掲]

【事業実施時期】	令和6年度～		
【実施主体】	大垣駅南前地区市街地再開発準備組合		
【事業内容】	<p>駅前の低未利用区域を高度利用し、まちなかの再生や都心居住の促進を図る</p> <p>地区面積：1.2ha</p> <p>・進捗状況</p> <p>令和4年度 準備組合設立</p> <p>令和6年度 都市計画決定</p> <p>令和7年度 組合設立</p>		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に資する理由】	大垣駅南前地区は、大垣駅南口から約200mに位置しているが、百貨店の空きビルや共同ビル、青空駐車場等があり、駅前でありながら低未利用な区域である。まちなかの再生や都心居住の促進を図るとともに、安全で活気ある基盤整備を行うことで、魅力ある市街地形成を図る。		
【支援措置名】	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）		
【支援措置実施時期】	令和8年度～令和12年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

(4) 国の支援がないその他の事業

【事業番号】 7-26 【事業名】 ハツラツ店舗支援事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	大垣商工会議所		
【事業内容】	起業家支援のため、イベント時に空き店舗をお試しで利用してもらう事業へ補助する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	空き店舗の解消		
【目標指標】	商店街振興組合連合会内空き店舗数		
【活性化に資する理由】	中心市街地内での新規出店を考える事業者に対し、スモールビジネス支援策として出店するまでのプロセスをワークショップ化したゼミを開催し「まちなかスクエアガーデン」において空き店舗に出店していただくもので、中心市街地への起業促進を図り、中心市街地の空き店舗を解消する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-27 【事業名】 中心市街地個店魅力アップ事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	老朽化した商店街の店舗の改装費を補助する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	空き店舗の解消		
【目標指標】	商店街振興組合連合会内空き店舗数		
【活性化に資する理由】	市が支援する事業で、商店街の老朽化した店舗を改装し、中心市街地の魅力向上を図り、中心市街地内の空き店舗を解消する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-28

【事業名】 中心市街地リノベーション推進事業

【事業実施時期】	令和元年度～		
【実施主体】	大垣市 民間		
【事業内容】	遊休物件のリノベーションを推進する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	空き店舗の解消		
【目標指標】	商店街振興組合連合会内空き店舗数		
【活性化に 資する理由】	遊休物件のリノベーション事業に対し補助し、空き店舗への出店を促すことで、中心市街地の空き店舗を解消する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-29

【事業名】 中心市街地にぎわいづくり事業

【事業実施時期】	平成 22 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	中心市街地でのイベント事業を委託する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に 資する理由】	市民団体等によりまちなかスクエアガーデンと同時開催するイベント事業等を市が委託するもので、中心市街地でのイベント等の開催の促進を図ることで、中心市街地にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-30 【事業名】 のりものフェア

【事業実施時期】	平成 24 年度～		
【実施主体】	大垣市地域公共交通会議		
【事業内容】	のりものフェアを開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に 資する理由】	まちなかスクエアガーデンと同会場において、バス会社や鉄道会社と連携して「大垣市のりものフェア」を開催することにより、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-31 【事業名】 市民デジタル活用研修

【事業実施時期】	平成 23 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	市民向けの デジタル講座を開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に 資する理由】	市民生活におけるデジタル活用をキーワードに中心市街地内の公共施設で市民向けデジタル活用研修を開催し、中心市街地への集客を図ることにより、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-32

【事業名】 ふるさと大垣観光ボランティアガイド事業

【事業実施時期】	平成 11 年度～		
【実施主体】	大垣観光協会		
【事業内容】	観光ボランティアガイドを育成する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	地域資源の魅力等に関する情報提供や観光客と市民の交流を図ることにより、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-33

【事業名】 美濃路大垣宿本陣跡管理事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	美濃路大垣宿本陣跡の管理運営を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	中心市街地に位置する美濃路大垣宿本陣跡を観光拠点のひとつとして管理運営を行うことで、観光客の回遊性を高め、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-34

【事業名】 4館共通入館券発行事業

【事業実施時期】	平成 24 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	共通入館券を発行する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	大垣城、郷土館、守屋多々志美術館、奥の細道むすびの地記念館の4館共通入館券を発行し、観光客を回遊させることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-35

【事業名】 中心市街地協働型まちづくり事業

【事業実施時期】	平成 18 年度～		
【実施主体】	マイスター倶楽部他		
【事業内容】	中心市街地におけるマーケティング調査や各種イベント等を実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	市、大垣商工会議所、大垣市商店街振興組合連合会、マイスター倶楽部が協働して、商店街活性化を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-36

【事業名】 えきまえスクエアパーティ

【事業実施時期】	平成 28 年度～		
【実施主体】	大垣市 駅前商店街振興組合		
【事業内容】	駅前の広場を利用しナイトマーケットを開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に 資する理由】	大垣駅南口の水都の泉広場を利用して、ナイトマーケットを開催し、駅前商店街をはじめとする中心市街地の魅力向上と商店街活性化を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-37

【事業名】 街のアーティストフェスタ事業

【事業実施時期】	平成 27 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	駅ピアノの設置。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に 資する理由】	大垣駅南北自由通路に誰でも自由に弾くことができる駅ピアノを設置することで、中心市街地の魅力向上を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-38

【事業名】 大垣地域経済戦略推進事業

【事業実施時期】	平成 29 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	ビズモデル型支援センターの運営等を推進する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に 資する理由】	大垣ビジネスサポートセンターの運営等を行う大垣地域経済戦略推進協議会に対し補助し、中小企業等の経営支援や、創業支援等に努めるもので、商店街の活性化を図り、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-39

【事業名】 デジタル地域通貨「ガキペイ」活用推進事業

【事業実施時期】	令和 6 年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	市独自の地域通貨「ガキペイ」によるポイント付与事業を実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に 資する理由】	市民の行動変容、行政参画を促進するため、各種イベントの参加者等に対しポイントを付与することで、地域経済の活性化を図り、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 7-40

【事業名】 かがやき健康ウォーキング事業

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	かがやきクラブ大垣		
【事業内容】	中心市街地を巡るウォーキングイベントを開催。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	中心市街地を巡るウォーキングイベントを開催することで、高齢者の健康を増進するとともに、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			